

岩殿山&竜ヶ岳山行報告

【山行日】 2019年 5月18～19日(土日) 晴れ後小雨

【集 合】 岩舟支所P AM 7:00

【費 用】 マイカー2台 : 11,200円

【メンバー】 CL:鈴木、 SL大西、岩淵、島田、関、鶴見、福島、福田々、渡辺

18日:高月橋Pに車を止め、岩殿山登山口から岩殿山・天神山・稚児落しを縦走し浅利へ下る。

岩舟支所P7:00=高月橋P9:00/9:20~岩殿山登山口 9:30~岩殿山 10:00~築坂峠 10:40~

天神山 11:20~稚児落し 11:40/11:50~浅利 12:20~吉田屋 12:45/13:30=道の駅「なるさわ」

14:25/14:45=カトリア荘 14:55

今年の合宿は大月市の岩殿山と、ダイヤモンド富士で有名な竜ヶ岳に登る計画を立てた。

去年、大月市南側の菊花山に登り北側に岩殿山が見え、来年は岩殿山に登ろうと決めていた。

岩舟支所を7時に出発し大月市に向かったが、圏央道八王子JCT手前から渋滞になり、20分遅れて到着した。高月橋の登山者用駐車場も1台分しか空いてなかったが、準備をしていると1台出て行き無事駐車することが出来た。準備を



整えて、ストレッチを済ませたら出発し岩殿山登山口に向かう。駐車場からすぐ左に歩道を歩き、すぐに左側に登山道入り口である「岩殿城跡入口」の看板が現れる。階段状の道を登って行くと分岐があり、右の山道を登って行くと円山公園のトイレに出る。トイレを済ませたら階段を上がり、プラネタリウムがある岩殿山ふれあい館の前に出る。ふれあい館の左からコンクリートの道を登り、グングン高度を稼いで行く。やがて分岐

があり左は築坂峠への縦走路で、右に進むと岩殿山山頂に出る。展望台があり富士山がドーンと見えるはずだが、あいにく雲が多く富士山は望めなかった。山頂奥の東屋で休憩を取り、イチゴや菓子を食べてエネルギーを補給する。ここから分岐まで戻り、西へ樹林帯の道を下って行く。下り切った所が築坂峠で、鉄塔の左を進むと岩場が現れる。大した岩場ではないが、先行者が難儀して渋滞になっている。しばらく待たされクサリ場を登ると、その先のクサリ場も渋滞していた。



さらに尾根を進むと2番目のクサリ場になるが、登山道崩落の為通行禁止になっており、核心部の兜岩へは登ることが出来なかった。右の迂回路林間コースを進むが、この迂回路が中々手強い。



ロープで20mくらい急斜面を下るが、土の斜面は足がかりが無く滑るので先行者が難儀していた。しばらく待たされ我々の順番になるが、それほど難しくなく皆さん上手に降りて行く。

樹林帯の巻道を進むと明るい稜線に出て、尾根を登って行くと天神山の山頂に着く。

すぐ先に鉄塔があり、少し下ると藤原道真を祀った浅利天神がある。

山頂や浅利天神で登山者が昼食を食べていたが、我々は稚児落しを目指して先に進む。

浅利天神の先を右に折れ、自然林の明るい尾根を進むと、やがて前方に稚児落しと呼ばれる大絶壁が現れる。落差100mほどもある大岩壁は見事で、この上をなぞるように歩くが高度感があり注意して歩く。稚児落しの標識で休憩を取り、大岩壁を眺望とスリルを楽しみながらデコポンや栗の渋皮煮をいただく。稚児落しからは樹林帯の下りになり、道なりに急な下りを進むとT字路になり左に進む。

民家の前を過ぎて橋を渡ると道路に出て、舗装道路を左に進む。中央高速道下のY字路を左に進み、しばらく進んだT字路を左折すると吉田屋の看板が見えた。店に着くと順番待ちになっており、待っている間に我輩とO嬢で車を取りに行く。高月橋駐車場から車で店に戻ると、丁度テーブルに案内されタイミングが良かった。皆さん好きなうどんをオーダーし、それぞれトッピングの天ぷらも付けて美味しくいただいた。昼食が済んだら車に乗り、次の目的地道の駅「なるさわ」に向かう。



道の駅「なるさわ」は毎回混雑して寄れず、「1日目に寄ってください」との要望があり寄ることにした。



土曜日なのでそれほど混雑も無く、何とか車を止めることが出来買い物を楽しむ。買い物が済んだら、今宵の宿「カトリア荘」に向かう。カトリア荘に着くと、いつものように女将さんが出迎えてくれ部屋に案内される。今年は2階の3部屋なので、丁度3名ずつで泊れる。風呂が済んだらいつものように宴会が始まり、八海山を飲みながら楽しく過ごす。いつの間にか八海山が空き、ワンカップのお酒も無くなった所で夕食の時間になり食堂に行く。いつものカトリアメニューで、お刺

身にエビフライ、煮魚等々ビールがとても美味しい。

皆さんも美味しそうに食べて、おしゃべりが弾んでいた。

お腹いっぱいになったらお開きにし、我輩は部屋に戻ったが皆さんはストーブの周りでおしゃべりを続けていたようだ。明日の朝は天気が良かったら、いつものように6時に大石公園へ散歩に行きますと告げて、我輩は早めに床についた。

19日:本栖湖キャンプ場に車を止め、竜ヶ岳登山口から竜ヶ岳山頂に登り、本栖湖登山口を下る周遊コースを歩き本栖湖キャンプ場に戻る

カトリア荘 6:00＝大石公園 6:15/6:40＝カトリア荘 6:55/7:55＝本栖湖キャンプ場 P8:15/8:25

～竜ヶ岳登山口 8:40～展望台 9:30/9:40～分岐 10:10～竜ヶ岳 10:30/10:45～分岐 10:55～

本栖湖登山口 12:15～本栖湖畔 12:25/12:50～本栖湖キャンプ場 P13:00/13:10＝岩舟支所 P15:50



朝5時に起きて窓の外を見ると、雲は多いが少し青空も見えていた。これなら散歩に行けると、散歩に出かける準備をする。6時にカトリア荘を出発し、西湖北岸に出ると富士山が大きく見え「ウワ～凄い！富士山だ～」と歓声があがる。

雲は多いが富士山がくっきりと見え、ラッキーと竜ヶ岳山行に期待を寄せる。ところが文化洞トンネルを抜けて、河口湖畔に出ると富士山は雲に隠れ二度と見る事が出来なかった。大石公園に着き、お花畑の遊歩道を花を楽しみながら歩いて行く。花の写真が載った案内板で花の名前

を確認し、花街道を歩いて花富士まで歩いて行く。花富士はビオラの花で富士山が造られ、前に富士五湖が配置されている。花富士の前で記念写真を撮ったら駐車場に戻り、7時前にカトリア荘に戻った。すぐに食堂で朝食をいただいたが、朝食もとても美味しい。

普通のおかずなのだが、ご飯とみそ汁が美味しいのかいつも食べ過ぎてしまう。朝食が済んだら出発の準備をして、女将さんに挨拶したら出発する。本栖湖畔の公衆トイレに寄り、トイレを済



ませてからキャンプ場の駐車場に着く。準備を整え、ストレッチが済んだら出発する。キャンプ場の中を案内板に従って進み、道路を横切った先が竜ヶ岳登山口になる。標識に従って左の登山道を登り、ヒノキ林の整備された登山道を進む。しばらく薄暗い植林帯の急坂を登り、これが明るい自然林になると傾斜が緩み、ベンチがある小ピークに登り着く。東側の富士山は見えな

かったが、西側の樹間から紺碧の本栖湖を望むことが出来た。

ここから鞍部へとわずかに下り、富士山側の見晴らしが良い坂道を登って行く。途中、何か所か富士本栖湖リゾートの芝桜が見え、上からただで見られてラッキーだね〜と喜んでいた。展望の良い



笹原の中の登山道を九十九折れに登り、富士山は裾野だけ見えるが半分以上は雲の中に隠れて見えない。それでも「山頂に着く頃は見えるだろう！」と淡い期待を持って登って行くと石仏が祀られた台地に着く。石仏の前で休憩し、グレープフルーツや菓子を食べて見えない富士山を眺める。ここからは、目の前に立ちのぼるスズタケの急斜面を登って行く。登山道は九十九折れについて歩き易く、展望や花を見ながら歩くので辛さはあまり感じない。

傾斜が緩くなると、まもなく下山路に使う北面登山道への分岐になる。分岐からは緩やかな尾根道を辿り、広いスズタケの登山道を進むと平坦な竜ヶ岳山頂に着く。山頂は平坦で広く、山頂標識やテーブルとベンチがあるが、先客が休んでいて使用できない。ここで昼食の予定だったが、時間が早いので下山して本栖湖畔で撮ることにする。

記念写真を撮ったらテーブルを半分空けてもらい、デコポンやフルーツケーキを食べてゆっくり休憩を取る。富士山が出るのを待つが、状況は変わりそうも無いので諦めて下山する。山頂からは分岐まで戻り、左に折れて北面登山道を下って行く。竜ヶ岳北面は、イヌブナやミズナラ、カエデ類等豊かな広葉樹に覆われて「やまなしの森100選」荷も指定されている。自然豊かな森を下るが、登山道は荒れていてとても歩きにくい。半分くらい下った所で、ボランティアの20名位の方々が登山道整備を行っていた。クワやスコップでデコボコの登山道を平らに均し、歩き易くしてくれていた。



これだけの距離を人力で整備するのは大変なことで、皆さんに感謝の言葉を掛けて下って行く。遊歩道に突き当たったら左に進み、本栖湖岸の道路に出て右に行き湖岸で昼食にする。味噌ラーメンを作り、昨日道の駅で買ったおやきと一緒にいただく。食べ終わる頃から雨粒がポツリと落ちて来て、キャンプ場のトイレ借りて駐車場に戻ると雨が降り出した。急いで靴を履き替え、荷物を車に積んだら出発する。国道に出ると雨が強く



なり、降られなくて良かったねと胸をなでおろす。鳴沢氷穴あたりまで断続的に渋滞したが、それほどの渋滞にはならず河口湖インターから高速道に入る。中央高速道も渋滞は無く、圏央道の狭山PAに寄ってトイレと買い物を済ませ、予定よりもかなり早く岩舟支所に帰着出来た。